

令和4年

8月24日(水)

14:00~15:45(13:30開場)

コラボしが21 3階大会議室

 **オンライン配信** zoomウェビナー

滋賀県では「(仮称)新・琵琶湖文化館基本計画」を令和3年3月に策定し、大津市浜大津において、令和9年度(2027年度)に新しい文化館の開館を目指しています。令和3年11月には、滋賀県の文化財や新しい文化館について、理解や関心を深める機会として、「新しい文化館を考える」と題した県民フォーラムを実施いたしました。このたび、新しい文化館の活動をさらに踏み込んで発信することを目的に、学芸員を登壇者に県民フォーラムを開催します。

# みんなでも考える 新しい文化館の 展覧会

講演

新しい文化館の展覧会活動に期待すること

高梨 純次 氏

公益財団法人秀明文化財団理事

パネルディスカッション

展覧会企画案プレゼンテーション

聴講無料

会場/100名

配信/500名

事前予約制

コメンテーター

對馬 佳菜子 氏

合同会社nagori代表  
観音ガール

ファシリテーター

高梨 純次 氏

パネリスト

井上 優

文化財保護課課長補佐  
琵琶湖文化館副館長

パネリスト

古川 史隆

文化財保護課副主幹  
琵琶湖文化館副主幹

パネリスト

和澄 浩介

琵琶湖文化館主任学芸員

パネリスト

田澤 梓

琵琶湖文化館学芸員

申込  
方法

しがネット受付サービスよりお申し込みください(7月25日より受付、先着順)。  
本事業へのご意見は、パネルディスカッション内で使用させていただくことがあります。



[会場]



[配信]

主催・問い合わせ先

滋賀県文化財保護課

電話:077-528-4681 / FAX:077-528-4833 / メール:bunkatsu@pref.shiga.lg.jp

## 琵琶湖文化館について

- 昭和36年(1961年)開館
- 多くの個人、団体から寄付をいただくなど、県民や県にゆかりのある方の篤い志により建設(※建設費1億5,000万円のうち、9,000万円が寄付)
- 国宝2件(17点)、重要文化財52件(90点)をはじめとする貴重な収蔵品
- 平成20年(2008年)から休館中。休館後も、収蔵品の保管、他館での展覧会活動、文化財講座、情報発信等の活動を継続

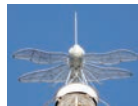
### 多くの人の思いが込められた文化館



開館告知パンフレット



琵琶湖文化館建設募金箱



開館時から親しまれる「トンボ」

### 休館中の活動



地域連携企画展



文化財講座

- 令和3年3月「(仮称)新・琵琶湖文化館基本計画」策定、大津市浜大津において、令和9年度(2027年度)の開館を目指す
- 令和3年度実施県民フォーラム「新しい文化館を考える」についてはこちら ▶



## 登壇者プロフィール



### 高梨 純次 (たかなし じゅんじ)

京都府出身。同志社大大学院修了。琵琶湖文化館学芸員として奉職したのち、県立美術館開設準備室に勤務し、滋賀県立近代美術館学芸課長となる。現在は(公財)秀明文化財団理事(MIHO MUSEUM研究・展示担当)。著書に写真・寿福滋『近江の祈りと美』(サンライズ出版)、『近江の古像』(思文閣出版)。



### 對馬 佳菜子 (つしま かなこ)

東京都出身。日本女子大にて日本史を専攻、研究の傍ら各地の仏像を巡り、近江の仏像に出会う。長浜市地域おこし協力隊「観音の里プロジェクト」に3年間携わったのち、合同会社nagoriを立ち上げ、長浜市内の仏像を中心とした文化財・地域文化に特化したプロデュース、コンサルティングのほか、講演、執筆等を行う。著書に『観音ガールと巡る近江の十一面観音』(能美舎)。



### 井上 優 (いのうえ まさる)

滋賀県出身。立命館大文学部卒。栗東歴史民俗博物館を経て、現在は琵琶湖文化館副館長。専門は書跡・典籍。これまで40回をこえる展覧会に関わり、近江の歴史に新視点を提示してきた。共著に「滋賀県謎解き散歩」(中経出版)、「1冊でわかる滋賀の仏像」(サンライズ出版)など。



### 古川 史隆 (ふるかわ ふみたか)

大阪府出身。神戸大大学院修了。滋賀県立安土城考古博物館、琵琶湖文化館の学芸員を経て現職。専門は仏教絵画史・仏教工芸史。文化館では「フェノロサ・天心の見た近江」「桃山時代の近江」などの展覧会を担当した。



### 和澄 浩介 (わづみ こうすけ)

埼玉県出身。奈良大大学院修了。鎌倉国宝館、滋賀県立近代美術館を経て、琵琶湖文化館主任学芸員。専門は彫刻史(仏像・神像など)。県立安土城考古博物館の企画展「伝教大師最澄と天台宗のあゆみ」を担当。



### 田澤 梓 (たざわ あずさ)

栃木県出身。東京藝術大大学院修了。宇都宮美術館、奈良国立博物館アソシエイトフェロー(工芸)を経て、琵琶湖文化館学芸員。専門は工芸史(金工・仏教工芸)。今回の県民フォーラム企画担当。

## 会場コラボしが21 アクセス

- JR琵琶湖線(JR東海道本線)「大津」駅よりバス約7分、または徒歩約20分
- JR琵琶湖線(JR東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約5分

※会場には駐車場がございません。近隣の駐車場(有料)をご利用になるか、公共交通機関でお越しください。

## ご来場される方へのお願い

- 来場時は必ずマスクを着用してください。
- 会場に手指消毒用アルコールを設置しておりますので、ご利用ください。
- 発熱・体調不良の場合は、来場をお控えください。
- 万が一、新型コロナウイルス感染症の疑いが生じた場合、公的機関の求めに限り、参加者名簿を提出する場合がございます。
- 感染症予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、当日の対応に変更が生じる場合がございますこと予めご了承ください。